

京都教区時報

京都教区広報委員会
 編集長 村上透磨
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3468
 FAX 075-211-4345
 kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁～5頁 アンノ 菅原 友明師 司祭叙階式

6頁～7頁 施設紹介 聖ヨゼフ医療福祉センター

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
 ご希望の方は点訳ネット「レジ
 ナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さ
 んまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601

2015年 司教年頭書簡 神の「貧しさ」を生きるⅡ

見えない霊的な豊かさを分かち合う(5)

(4) がキリストの貧しさと豊かさについてでしたので(5)は「霊」つまり「聖霊」の貧しさと豊かさについて語られていると思っただけですが、「霊の豊かさ」と「霊的な豊かさ(貧しさ)」とは少し違うのではないかと思います。私たちが、自分が聖霊にみだされたと思う時について陥る、おごり高ぶりが自分を偶像にしてしまう危険があると、自分に言い聞かせているからです。でも(4)と(5)を対応させながら読むのは、この年頭書簡を理解するのによい見方の一つとして、とらえていただけるかもしれません。

(4)に言われている事の大切な点は、御父の意志に従って自分を完全に無とする(謙遜)と自己奉獻(神への愛と隣人愛)がもたらす貧しさ(豊かさ)であると言っている点です。

続いて本項では、自ら貧しくなられた謙遜を学ぶ時「神と富に共に仕えることはできない」(マタイ6・24 ルカ16・13)両立はできないと断言されます。

「マンモン」というのは本来、自分に安定



をもたらすものの意味のようですが、それが自分を神の前でひとかどの者に見せてくれるもの、富や名声や金銭への欲望などを指すようです。ところが、神と対立して使われる時には「富という偶像」になります。ここで少し自覚しておきたいのは、自分の徳や聖性や義や信心や善業でさえも、そして聖霊にみだされていると思ひ込むこと自体も、自分を偶像化する危険性があるということです。それを救ってくれるのは、ただ神の前における謙虚さだけだと思います。

ところで富を「マンモン」にしない道が一つあると言います。富への欲(テモテ6・10)を克服すること、その激しい戦いに勝つには「愛による分かち合いだけだ」というのです。「愛による分かち合い」ということばは、すぐに「愛の宴」である御ミサへと思いを馳せることとなります。そ



れにつけても「愛の秘跡」であるはずの聖体祭儀に集まったコリントの教会の人々の「乱れ」は、目を覆うべきものがあり、それを戒めるため貧しい人を軽んずることなく、愛の分かち合いを通して霊的に豊かな者となりなさいと、強く命じます。

ただし、1コリント11・19〜22で言われている、貧しい人のパンの分かち合いは、感謝の祭儀の前に行われた愛の宴(アガペー)を指しているらしいのです。勿論、この愛の交わりが正しく行われて、はじめて感謝の祭儀の意義が生まれて来るといふことは間違いありません。

そして、更に物質的なものを愛をもって全ての人に分かち合うということは、見えない神の愛の霊的な豊かな恵みを分かち合うしるしだと語ります。

霊的な豊かさは見えない、それが見えるようになるためには、見えるもの、見える形を通して、愛によって分かち合うことだということです。こうして、物質的な物の愛の分かち合いは、霊的な恵みの分かち合いの場となります。

(村上透磨)

病者・高齢者訪問講座 全回

第1回

「スピリチュアルケアと人との関わり」

松本 信愛 師

(大阪教区)

とき 5/9(土)

午後2時~4時

会場 河原町教会地下ホール

第2回

「聖書における病気・病者とは」

一場 修 師

(マリスト会)

とき 6/4(木)

午後7時半~4時

会場 カトリック会館6Fホール

第3回 10/20(火)

「人として人らしく生きること-認知症と向き合うために-」

松島 慈児 氏 (高齢社会をよくする女性の会・京都)



受講費 ● 各回 300 円
事前申し込み不要 ● 当日受付

● お問い合わせ ●
カトリック京都司教区福音宣教企画室
TEL 075-229-6800

叙階の恵みをいただいて

アンノ 菅原 友明

2015年3月7日に、京都教区司教座聖堂の河原町教会にて、大塚喜直司教の司式により、司祭叙階式を行っていただきました。叙階という恵みをいただいたことを、主に感謝し、これまでお導き、お祈りくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。

私は1997年の5月に、東京の立川教会で洗礼を受け、その4年後の2001年の春、聖ヴィアートル修道会の志願者とさせていただくために、仕事を退職して京都にやってきました。教会や学校で働かせていただき、名古屋の神学校に行かせていただき、2011年10月に助祭叙階の恵みを受けることができました。その後、2013

年4月から西陣教会・望洋庵にて、2014年4月から日本カトリック神学院東京キャンパスの助祭コースにて過ごさせていただきました。そして、この春に助祭コースを修了し、先日の叙階式を迎えることができました。京都に来てから14年という歳月が経過したことになります。

西陣教会・望洋庵そして東京の神学院で過ごすことのできた、この約2年間は私にとって大きな恵みの時であったと思っております。この間に、修道会から京都教区へ転籍という形になりました。長期間に及ぶこの移行の時期、親身になって私のことを考えてくださり、霊的なご指導や転籍に関する諸手続きを、粘り強く行ってくくださった修道会と教区の関係者の方々、そしてこのような機会を直接的または間接的に私に与えて下さった、すべての皆様に心よ



アンノ 菅原 友明師 司祭叙階式
2015年3月7日 カトリック河原町教会

り感謝申しあげます。

結果的に、助祭に叙階されてから司祭に叙階されるまで、3年半という時間をいただいたのですが、皆様への大きな感謝の気持ちの中で、「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。しかし、人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。」(コヘレト3:11)という言葉を深く思い起こしております。

東京の神学院では、25名の神学生が学んでおり、この共同生活を通して、司祭とはどのようなものなのかということとを、その出会いの中で確かめていくことができたように思っています。また、支えあう仲間がいるという、そのことによってさえ自分が変えられてゆくということにも気づかされました。私と同

じ助祭という立場の神学生も10名おりました。一人一人それぞれの弱さを抱えていても、その弱さにおいてこそ神様が働かれているということと、他者そして自分の弱さを赦し受け入れるほどに、神様がそのような弱さを通して、自由に働いてくださることを共に体験できました。「主は『わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰りの状態にあっても、キリストのために満足していません。なぜなら、わたしは弱い時にこそ強いからです。」(二コリント12:9〜10)という、パウロの言葉に深く納得させられたのが、神学院での1年



たくさんの方が参列してくださいました



ご両親と共に(最前列手前)



でした。

信仰生活とは不思議なもので、時がたてばたつほど、実際はいろいろなことを学んでいるので、キリスト教についての知識はどんどん増えていっているはずなのに、自分の中で生きて自分を支えているものは、どんどんシンプルに、単純なものとなってゆき気がしています。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3:16)

神様が私達を愛してイエス様をお与えになり、イエス様が私達を贖うために十字架の上で生贄として捧げられました。私は、弱く汚く悩んでばかりの自分であり続けると思いますが、この二千年にわたって教会が伝え続けてきたこと、神様に愛されていると

いう、力強い根源的事実に、いつも立ち返って、そこから人間の知恵では決して出てこない無限の豊かさを汲み取れることを、心に抱いて歩んでいきたいと思います。

私達に対する神様の愛を、自分自身がまず深く受け止めて、人々に広めてゆくことは本当に大切なことだと思っております。そのためにこそ、主は秘跡を教会に残されました。秘跡において働かれるのは私ではなく主ご自身であることを、主の教会が働くのだということを、いつも心に留めていきたいと思っております。

どうぞ私が生涯にわたって司祭職を忠実に果たしてゆくことができまますように、お祈りください。今後ともどうぞよろしくお願い申しあげます。



司祭叙階50周年を迎えられた花井師から祝辞をいただく

施設紹介

社会福祉法人 聖ヨゼフ会

聖ヨゼフ医療福祉センター

【基本理念】

私たちは、キリストの教えに従い生命と人権を大切にします。

私たちは、知識と技術の研鑽に努め、障害を持つ人々に最善の支援を行います。



正面全景

聖ヨゼフ医療福祉センター(旧聖ヨゼフ整肢園)は1950年 故古屋義之司

教の『京都にカトリック医療施設創立』の要請にこたえて、アメリカの宗教法人

「(ウイチタ) 聖ヨゼフ修道会」の来日によって始められました。多くの方々の

絶えざる祈りと、修道会の絶大なる援助、京都市、地域の要望と支援によって13年

を経た1963年12月、「キリストの愛」を理念とした肢体不自由児施設「聖ヨゼフ整肢園」を創立しました。

創立から今日までの52年間には日本の

社会状況の大きな変化に伴い、幾多の困難がありました。が、神様の計り知れない

恵みと導き、利用者の方々の皆様の、京都市はじめ地域の方々、職員の方々の寛大なご協

力とご支援により、京都に於ける唯一の障害児・者総合療育施設となり、施設名

称も「肢体不自由児聖ヨゼフ整肢園」か



日本に最初に来られた3名のシスター

ら「聖ヨゼフ医療福祉センター」の名称になりました。

事業内容は医療と福祉を兼ね備えています。

1. 医療施設としての診療科は「整形外科」「小児神経科」「リハビリテーション科」です。

入院、外来で診療・治療を行っています。

2. 障害児・者福祉施設としては以下のような事業を行っています。

*「医療型障害児施設 聖ヨゼフ整肢園」

児童福祉法に基づく療育・生活指導等の支援で健やかな心身の発達・成長をめざします。

*「医療型障害児施設・療養介護事業所 麦の穂学園」心身に重い障害があっても豊かな命を生き、生活の質を高めて地域社会の一人として生活全般に亘って支援します。

*「福祉型児童発達支援センター ひばり学園」就学前の幼児の発達を家族と一緒に通園し保育と援助、指導をします。

*「生活介護事業所 櫟（くぬぎ）」在宅重症心身障害者が通園し日常生活と療育を支援します。

*その他「障害児・者地域療育等支援事業」「短期入所・日中一時支援事業」「特定相談支援事業所」



1966年11月
皇太子ご夫婦(現天皇・皇后両陛下)来訪

等があり、在宅障害児・者の支援を行っています。

施設の特徴としては1957年にドイツよりボイタ医学博士とセラピスト（理学療法士）を招聘し、ボイタ法による「脳性運動障害に対する早期発見、治療」を導入、専門職員（医師・セラピスト）の養成と治療に努力しています。また、1964年から故古屋義之司教の呼びかけに応じて、カトリックの婦人の方々に よって始められた「聖ヨゼフボランティア」活動は地域の多くの方々に広がり、続けられ今年で51年を迎えました。

多くのボランティアの方々を通して施設は地域の方々に愛され、受け入れられ地域福祉に貢献できるよう励まされて来ました。これからも「聖ヨゼフ医療福祉センター」が創立の精神を大切に、初心を忘れることなく、地域福祉のニーズにお応えできますよう更なる発展をめざして努力してまいります。

どうぞ「聖ヨゼフ医療福祉センター」のホームページをご覧ください。ボイタ法も詳しくホームページに掲載しています。

(<http://www.joseph-kyoto.com/>)



保育芋ほり(京都市 原谷)

2014年度カトリック京都司教区 決算報告

平素より、京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

2014年度(2014年1月1日から12月31日まで)の、京都司教区の法人本部並びに小教区会計(合算)の収支について、主な点をご説明します。収支の内容については、別表をご参照下さい。

教区本部会計について

今年度の決算は、収入合計576百万円、支出合計は611百万円で、当期収支差額は、△35百万円となりました。以下、収入・支出の主な点をご説明します。

1. 支出について

今年度は、福知山・鈴鹿両教会の建設や、小教区の聖堂等改修工事、カトリック会館の配管工事など多額の資産支出がありました。福知山・鈴鹿両教会の建設費用は建設仮勘定に計上しています。それ以外の支出は例年と大きな相違はありません。

福音宣教活動費のうち、アジア交流費は、主に韓国済州教区との交流のための費用です。また、教育養成費は、教区付司祭の黙想会、フィリピン宣教会や済州教区からの司祭の日本語研修の費用などです。

諸委員会活動費は、青少年委員会や他の委員会への助成金ですが、委員会の活動費総額の概ね半額になります。

なお、貸付金は四日市の特別支援学校聖母の家学園の新校舎建設費用として貸し付けたものです。

2. 収入について

収入の主なものは、建設分担金収入を含む納付金収入や収益事業からの収入によりますが、その他に教会の建設費用として必要な資金は定期預金を取り崩して充当しています。なお、篤志家の方から奈良教会の為に贈られた寄付金は、小教区特定積立金として保有しています。

尚、大船渡特別献金は、約15百万円の献金を頂き、累計では47百万円となりました。多額の献金に対し、感謝してご報告いたします。

小教区会計について

1. 今年度の教会維持献金とミサ聖祭献金の合計額は、212,325千円でした。これは、昨年の217,625千円よりも5,300千円の減額でした。このため、教区納付金(A)として教会維持献金とミサ聖祭献金の15%を納めていただいておりますが、今年度は、31,728千円で、昨年度の32,876千円に比べて1,148千円の減額となりました。

2. 納付金(B)につきましては、趣旨をご理解いただき、予算通りお送り頂きました。

経済状況厳しい折り、教区財政安定のため、皆様の一層のご協力をお願い致します。

2015年4月
カトリック京都司教区
本部事務局長 北村善朗

京都司教区 2014年度 教区本部会計収支計算書

自2014年1月1日 至2014年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	215,413	I 経 常 収 入	205,422
1 福 音 宣 教 活 動 費	64,792	1 納 付 金 収 入	167,095
祭 儀 費	207	司 教 司 牧 納 付 金	2,212
教 育 養 成 費	2,345	司 祭 司 牧 納 付 金	11,435
神 学 生 養 成 費	8,377	小 教 区 納 付 金 (A)	34,585
諸 委 員 会 活 動 費	3,519	小 教 区 納 付 金 (B)	76,930
教 区 事 業 活 動 費	47,442	小 教 区 納 付 金 (C)	17,455
諸 活 動 団 体 補 助 金	300	小 教 区 納 付 金 (D)	988
ア ジ ア 交 流 費	1,021	福 音 宣 教 協 力 金	3,679
国 際 交 流 費	625	建 設 分 担 金 収 入	19,811
会 議 費	929		
図 書 費	27		
緊 急 援 助 金	0		
2 寄 付 金 支 出	242	2 寄 付 金 収 入	12,275
		一 般 寄 付 金 収 入	210
3 特 定 献 金 支 出	11,070	収 益 部 門 収 入	11,825
		そ の 他 の 寄 付 金	240
4 人 件 費	101,214		
5 維 持 管 理 費	12,167	3 特 定 献 金 収 入	11,070
6 事 務 管 理 費	9,353	4 福 音 宣 教 企 画 室	310
7 福 音 宣 教 企 画 室	1,903	5 大 船 渡 特 別 献 金	14,672
8 大 船 渡 特 別 献 金	14,672		
II 墓 地 勘 定 支 出	5,323	II 墓 地 勘 定 収 入	8,437
墓 地 管 理 費	3,563	墓 地 使 用 料 収 入	4,367
墓 苑 整 備 費	1,760	墓 地 祭 儀 収 入	4,070
III 特 別 勘 定 支 出	1,283	III 特 別 勘 定 収 入	23,517
一 粒 会	0	一 粒 会	11,127
一 万 匹 の 蟻	1,283	ア ジ ア 基 金	668
小 教 区 特 定 積 立	0	一 万 匹 の 蟻	1,283
司 教 座 修 築 積 立	0	国 際 協 力 基 金	439
建 設 資 金 積 立	0	小 教 区 特 定 積 立	10,000
IV 資 産 支 出	386,465	IV 資 産 運 用 収 入	336,957
土 地	0	預 金 利 息 収 入	14,461
建 設 仮 勘 定 物	315,950		
建 物	13,724	土 地 売 却 収 入	2,100
建 物 付 属 物	25,427	預 金 取 崩	300,000
構 築 物	824	出 資 金 収 入	70
什 器 備 品	530	投 資 有 価 証 券 売 却 収 入	20,326
貸 付 金 支 出	30,000		
そ の 他	10		
V そ の 他 の 支 出	2,919	V そ の 他 の 収 入	1,642
支 出 計	611,403	収 入 計	575,975
当 期 収 支 差 額	▲ 35,428		

京都司教区 2014年度 小教区会計収支計算書

自2014年1月1日 至2014年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経常支出の部		経常収入の部	
(宣教司牧費)	69,673	(信徒通常献金)	224,764
祭 儀 費	16,378	教会維持献金	167,653
司 牧 費	1,951	ミサ聖祭献金	44,672
委員会活動費	2,306	大祝日(特別)献金	12,439
宣教広報費	1,818	(特定献金)	15,150
宣教育成費	732	(特別献金)	122,639
養 成 費	850	祭 式 献 金	19,257
青少年育成費	3,297	一 般 特 別 献 金	61,299
新聞図書費	1,462	宮 繕 献 金	11,956
会 議 費	525	建 設 献 金	26,555
行 事 費	6,653	墓地納骨堂建設献金	70
慶 弔 費	2,898	特 別 事 業 献 金	3,502
援 助 費	16,761	(助成金収入)	360
諸団体分担金	14,042	教 区 助 成 金	360
(特定献金支出)	15,382	修 道 会 助 成 金	0
(納付金支出)	127,215	(墓地・納骨堂等収入)	5,813
教区納付金支出(A)	31,728	使 用 料 収 入	1,473
教区納付金支出(B)	69,751	墓 地 祭 儀 収 入	4,340
教区納付金支出(C)	15,418	(補助活動収入)	601
教区納付金支出(D)	986	(雑収入)	340
修道会納付金支出	360	(資産運用収入)	347
建設分担金支出	8,972	預 金 利 息 収 入	423
(運営管理費)	116,551	受 取 配 当 収 入	130
(補助活動支出)	265	信 託 利 子 収 入	▲ 206
(墓地・納骨堂管理支出)	3,027		
経常支出合計	332,113	経常収入合計	370,014
財務支出の部		財務収入の部	
(固定資産支出)	61,468	(固定資産収入)	28,054
建物付属設備購入支出	5,636	祭儀備品売却収入	0
構築物購入支出	2,899	墓地使用権売却収入	0
祭儀備品購入支出	615	投資信託売却収入	0
器具備品購入支出	771	過年度特別預金収入	2,063
墓地使用権取得支出	10	特別目的預金取崩収入	25,991
特別目的預金積立支出	51,537		
(その他の財務支出)	10,318	(その他の財務収入)	9,335
(資金調整勘定)	▲ 2,149	(資金調整勘定)	▲ 616
財務支出合計	69,637	財務収入合計	36,773
支出合計	401,750	収入合計	406,787
次期繰越金	309,291	前期繰越金	304,254
合 計	711,041	合 計	711,041

5月のお知らせ

教 区

福音宣教企画室 / Tel.075(229)6800

病者・高齢者訪問講座

「スピリチュアルケアと人との関わり」

日 時：9日⊕ 14:00

講 師：松本 信愛師(大阪教区)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

受講費：300円

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊶㊷㊸

聖書講座「神に生かされて」

日 時：13日㊶ 19:00 14日㊷ 10:30

テーマ：キリストから12使徒を通してパウロへ

講 師：村上 透磨師

日 時：27日㊸ 19:00 28日㊹ 10:30

テーマ：聖霊降臨

講 師：溝部 脩司教

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び(ヨハネ福音書を読む)

日 時：20日㊶ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

ブロック

奈良ブロック協議会

聖書講座—詩編を歌って 神を讃えよう—

日時会場：8日㊶ 19:00 大和郡山教会

9日⊕ 10:00 奈良教会

テーマ：入門(2)神に嘆願、賛美、
感謝の歌をささげる

講 師：クエンジ・ダニエル師(淳心会)

日時会場：22日㊶ 19:00 大和八木教会

23日⊕ 10:00 奈良教会

テーマ：主に従う人は幸い

主を求めよ 主は私の父

講 師：松田 浩一師(カルメル修道会)

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

キリスト教霊の同伴(松田 浩一師)

日 時：1日㊶ 20:00~2日⊕ 15:00

参加費：6,500円

聖書深読(渡辺 幹夫師)

日 時：9日⊕ 10:00~16:00

参加費：2,500円

水曜黙想(松田 浩一師)

日 時：13日㊶ 10:00~16:00

テーマ：ファチマの聖母

参加費：3,000円(昼食代他)

諸 団 体

望洋庵 Tel.075(366)8337

青年のための聖書入門講座

日 時：7日㊶ 19:00「歴史探訪」

21日㊷ 19:00「誘惑(ルカ3.1~13)」

講 師：溝部 脩司教

対 象：青年男女(初めての方、歓迎)

参加費：300円(食事代含)

会 場：望洋庵(西陣教会内) / 申込不要

京都カトリック混声合唱団

練 習：10日㊶ 14:00/23日⊕ 18:00 ミサ奉仕後

31日㊹ 14:00 カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：14日㊷ 10:00 カトリック会館6階

28日㊸ 10:00 河原町教会聖堂2階楽廊

聴覚障がい者の会

手話ミサと交流会

日 時：26日㊸ 11:00~14:00

場 所：彦根教会 / 参加費700円(昼食代)

要申込：Tel. Fax.077(573)6036(亀岡信子)

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「人生を導く聖書の言葉」

出演は松浦 謙師(大阪教区)

ラジオ(KBS京都) ㊶~㊶ 朝5:55

⊕ 朝5:15

5月のテーマ「マリア様の役割」

京都・河原町キリシタン研究会共催

日 時：6月6日⊕ 14:00~15:30

講演会：ザビエルの願いはこのように実現した

堺-河内-都の南蛮寺への右近の思い

講 師：神田 宏大氏

(野崎キリスト教会牧師)

会 場：河原町教会 聖堂

参加費：無料

大塚司教の

5月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka

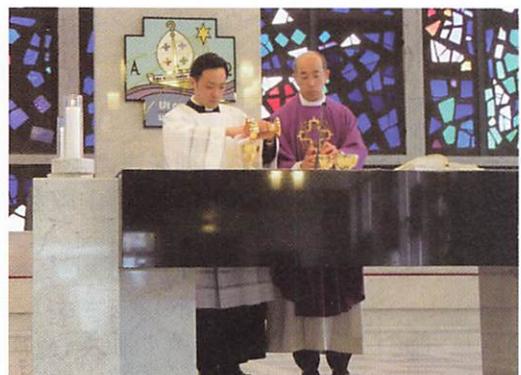


- 4月30日(木)-5日(火) フィリピン宣教会
創立50周年 フィリピン巡礼
- 8日(金) 10:00 中央協 常任司教委員会
18:00 日本カトリック神学院
東京キャンパス
- 9日(土) 9:00 日本カトリック神学院
東京キャンパス 常任司教委員会
- 10日(日) 福知山教会 新聖堂 献堂式ミサ
- 12日(火) 15:00 青少年委員会
- 13日(水) 14:00 (学法)滋賀カトリック学園
理事会

- 14日(木) 14:00 京都済州姉妹教区交流委員会
- 17日(日) 10:30 滋賀ブロック司教訪問(唐崎)
- 18日(月) 14:00 司教顧問会
- 19日(火) 14:00 (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会
- 20日(水) 14:00 (学法)カトリック京都学園・
京都南カトリック学園 理事会
- 21日(木)-23日(土) 京都済州姉妹教区
交流10周年記念 巡礼
- 24日(日) 14:00 京都南部地区合同堅信式(河原町)
- 25日(月) 13:30 メリノール女子学院 理事会
- 28日(木) 10:00 「求道者に同伴する信徒」の
養成講座 まとめ
- 31日(日) 10:00 教区青年の集い in 奈良(御所)



ガブリエル 大塚 乾隆神学生 祭壇奉仕者選任式
2015年3月15日 カトリック河原町教会



京都教区サポートセンター

Tel.075(211)3025 Fax.(211)3041
cksc@kyoto.catholic.jp

ボランティア募集中

詳細は京都教区ホームページをクリック

教区広報委員会からのお知らせ

※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛にFax.075(211)4345かkouhou@kyoto.catholic.jpに発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 7月号の原稿締切り日は5月27日(火)です。